



実行予算の作成と月報管理



京成建設株式会社

改定第二版 2024.11.30

■ 実行予算の作成と月報管理について ■

現在、作業所の原価管理における協力会社との契約損益(**現在損益**)が、
現行の月報では管理できない状態にあります。

そのため、その現在損益を今後見込に予備費として計上し、**現在見込利益**
が正確に報告されないケースが散見されています。

また、発注者との契約ができていない追加工事(**未登録工事**)の原価管理
のルールが明確でないため、最終予想利益が作業所長にしかわからない状
況にあります。

ついては、そのような状況を改善するため、月報の一部を改定するととも
に原価管理ルールを以下のように定めることとする。

A 月報改定の目的

- ① 業者との契約または契約払いにおける、**当該予算**を明確にし、それから生じる**現在損益**を算出できるようにする。
- ② **未登録工事**の原価管理ルールを統一し、**最終予想工事価格**並びに**最終予想利益**を明確にする。

B 実行予算の作成について

① 元積を積算部で作成した場合

- ・ 決裁側は工種の合計金額のみとし、各内訳はすべての数量、単価を0とする。
- ・ 実行予算は、業者との契約、業者への契約外払をまとめて整理し作成する。

② 作業所で元積を作成した場合

- ・ 元積(決裁書)は業者との契約、契約外払をまとめて整理して作成しておく。(①同様)
- ・ 従来通り、決裁側と同じ行で実行予算を比較検討し、作成する。

B 実行予算の作成について

① 元積を積算部で作成した場合

- ・ 決裁側は工種の合計金額のみとし、各内訳はすべての数量、単価を0とする。
- ・ 実行予算は、業者との契約、業者への契約外払をまとめて整理し作成する。

② 作業所で元積を作成した場合

- ・ 元積(決裁書)は業者との契約、契約外払をまとめて整理して作成しておく。(①同様)
- ・ 従来通り、決裁側と同じ行で実行予算を比較検討し、作成する。

B 実行予算の作成について

① 元積を積算部で作成した場合

- ・ 決裁側は工種の合計金額のみとし、各内訳はすべての数量、単価を0とする。
- ・ 実行予算は、業者との契約、業者への契約外払をまとめて整理し作成する。

② 作業所で元積を作成した場合

- ・ 元積(決裁書)は業者との契約、契約外払をまとめて整理して作成しておく。(①同様)
- ・ 従来通り、決裁側と同じ行で実行予算を比較検討し、作成する。

名称/摘要	単位	決 裁 書			実 行 予 算			差 額	
		数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	数量	金 額
鉄筋工事	式	1.00	28,040,000	28,040,000	0.00	0	0	1.00	28,040,000
【材料費】									
異形鉄筋 SD295 D10	ton	26.90	0	0	26.90	124,000	3,335,600	0.00	▲ 3,335,600
異形鉄筋 SD295 D13	ton	59.60	0	0	59.60	122,000	7,271,200	0.00	▲ 7,271,200
異形鉄筋 SD295 D16	ton	9.60	0	0	9.60	120,000	1,152,000	0.00	▲ 1,152,000
異形鉄筋 SD345 D19	ton	0.80	0	0	0.80	125,000	100,000	0.00	▲ 100,000
異形鉄筋 SD345 D22	ton	4.70	0	0	4.70	125,000	587,500	0.00	▲ 587,500
異形鉄筋 SD390 D29	ton	20.70	0	0	20.70	126,000	2,608,200	0.00	▲ 2,608,200
異形鉄筋 SD390 D32	ton	1.90	0	0	1.90	126,000	239,400	0.00	▲ 239,400
高強度せん断補強筋 MK785 MD13	ton	2.70	0	0	2.70	200,000	540,000	0.00	▲ 540,000
【加工組立】									
鉄筋加工組立	ton	124.20	0	0	124.20	67,000	8,321,400	0.00	▲ 8,321,400

C 月報(工事試算台帳)について

① 「予算」欄の管理

「予算」の内訳の項目のすべてに、下記のルールにのっとり、No.と業者名を割り当てる。

- ・ 契約…1つの契約毎に、同じNo.、同じ業者名を入力する(No.は1～50)
(例:No.1 ナカジマトーケン(内容:足場組立解体))
- ・ 契約外…同様に支払内容ごとに、No.と業者名を入力する(No.は100～)
(例:No.100 山本商会(内容:雑金物購入) 業者未定の場合は「未定」とする)

<1011 建 準備費>

予 算					実 行 予 算	
名 称	数 量	単 位	単 価	実行予算	No.	業者名
合 計				105,000		
式典設営・撤去費	1	式	100,000	100,000	2	木下祭典
雑金物	1	式	100,000	100,000	100	田中金物
お知らせ看板設置費	1	式	114,000	114,000	1	有田商店
工事名看板設置費	1	式	50,000	50,000	1	有田商店
				0		
				0		

C 月報(工事試算台帳)について

① 「予算」欄の管理

「予算」の内訳の項目のすべてに、下記のルールにのっとり、No.と業者名を割り当てる。

- ・ 契約…1つの契約毎に、同じNo.、同じ業者名を入力する(No.は1～50)
(例:No.1 ナカジマトーケン(内容:足場組立解体))
- ・ 契約外…同様に支払内容ごとに、No.と業者名を入力する(No.は100～)
(例:No.100 山本商会(内容:雑金物購入) 業者未定の場合は「未定」とする)

<1011 建 準備費>

予 算					実 行 予 算	
名 称	数 量	単 位	単 価	実行予算	No.	業者名
合 計				105,000		
式典設営・撤去費	1	式	100,000	100,000	2	木下祭典
雑金物	1	式	100,000	100,000	100	田中金物
お知らせ看板設置費	1	式	114,000	114,000	1	有田商店
工事名看板設置費	1	式	50,000	50,000	1	有田商店
				0		
				0		

C 月報(工事試算台帳)について

① 「予算」欄の管理

「予算」の内訳の項目のすべてに、下記のルールにのっとり、No.と業者名を割り当てる。

- ・ 契約…1つの契約毎に、同じNo.、同じ業者名を入力する(No.は1～50)
(例:No.1 ナカジマトーケン(内容:足場組立解体))
- ・ 契約外…同様に支払内容ごとに、No.と業者名を入力する(No.は100～)
(例:No.100 山本商会(内容:雑金物購入) 業者未定の場合は「未定」とする)

<1011 建 準備費>

予 算					実 行 予 算	
名 称	数 量	単 位	単 価	実行予算	No.	業者名
合 計				105,000		
式典設営・撤去費	1	式	100,000	100,000	2	木下祭典
雑金物	1	式	100,000	100,000	100	田中金物
お知らせ看板設置費	1	式	114,000	114,000	1	有田商店
工事名看板設置費	1	式	50,000	50,000	1	有田商店
				0		
				0		

C 月報(工事試算台帳)について

① 「予算」欄の管理

「予算」の内訳の項目のすべてに、下記のルールにのっとり、No.と業者名を割り当てる。

- ・ 契約…1つの契約毎に、同じNo.、同じ業者名を入力する(No.は1～50)
(例:No.1 ナカジマトーケン(内容:足場組立解体))
- ・ 契約外…同様に支払内容ごとに、No.と業者名を入力する(No.は100～)
(例:No.100 山本商会(内容:雑金物購入) 業者未定の場合は「未定」とする)

<1011 建 準備費>

予 算					実 行 予 算	
名 称	数 量	単 位	単 価	実行予算	No.	業者名
合 計				105,000		
式典設営・撤去費	1	式	100,000	100,000	2	木下祭典
雑金物	1	式	100,000	100,000	100	田中金物
お知らせ看板設置費	1	式	114,000	114,000	1	有田商店
工事名看板設置費	1	式	50,000	50,000	1	有田商店
				0		
				0		

C 月報(工事試算台帳)について

① 「予算」欄の管理

「予算」の内訳の項目のすべてに、下記のルールにのっとり、No.と業者名を割り当てる。

- ・ 契約…1つの契約毎に、同じNo.、同じ業者名を入力する(No.は1～50)
(例:No.1 ナカジマトーケン(内容:足場組立解体))
- ・ 契約外…同様に支払内容ごとに、No.と業者名を入力する(No.は100～)
(例:No.100 山本商会(内容:雑金物購入) 業者未定の場合は「未定」とする)

<1011 建 準備費>

予 算					実 行 予 算	
名 称	数 量	単 位	単 価	実行予算	No.	業者名
合 計				105,000		
式典設営・撤去費	1	式	100,000	100,000	2	木下祭典
雑金物	1	式	100,000	100,000	100	田中金物
お知らせ看板設置費	1	式	114,000	114,000	1	有田商店
工事名看板設置費	1	式	50,000	50,000	1	有田商店
				0		
				0		

C 月報(工事試算台帳)について

① 「予算」欄の管理

「予算」の内訳の項目のすべてに、下記のルールにのっとり、No.と業者名を割り当てる。

- ・ 契約…1つの契約毎に、同じNo.、同じ業者名を入力する(No.は1～50)

(例:No.1 ナカジマトーケン(内容:足場組立解体))

※**予算にない契約**が発生した場合は、その都度、**予算0**で項目に追加し、No.と業者名を割り当てる(現在損益をマイナスで発生させるため)

【注1】「予算にない契約」とは追加工事の対象ではない予算の見込不足(精算契約含む)や計上漏れの工事をいう

- ・ 契約外…同様に支払内容ごとに、No.と業者名を入力する(No.は100～)

(例:No.100 山本商会(内容:雑金物購入) 業者未定の場合は「未定」とする)

② 「当該予算」の管理(現在損益を自動算出する)

- ・「当該予算」欄には、①で割り当てた(No.1～50)ごとに業者名と自動集計された予算が表示されている…**①A**

ただし、契約外(No.100～)は対象外とし表示されない。(契約外の現在損益は管理上0とするため)

当 該 予 算				
No.	業者名	実行予算 a	契約合計 b	現在損益 c=a-b
小 計		264,000	0	0
1	有田商店	164,000	0	0
2	木下祭典	100,000	0	0
3		0	0	0
4		0	0	0

- ・業者と契約後、「既決定」欄にその契約金額と該当する予算No.を入力すると、現在損益(契約金額と予算との差)が自動で表示される。
- ・その工種における現在損益の合計が自動計算で表示され、「管理月報」にも表示される。

既 決 定										
No.	年 月 日	業者コード	業 者 名	注文番号	摘 要	契約金額 ②	契約書払 ③	契約外払 ⑤	既決合計	既・支払合計 ⑦
						230,000	0	50,000	280,000	50,000
1			有田商店			150,000			150,000	0
100			田中金物					50,000	50,000	50,000
2			木下祭典			80,000			80,000	0

② 「当該予算」の管理(現在損益を自動算出する)

- ・「当該予算」欄には、①で割り当てた(No.1～50)ごとに業者名と自動集計された予算が表示されている…**①A**

ただし、契約外(No.100～)は対象外として表示されない。(契約外の現在損益は管理上0とするため)

当 該 予 算				
No.	業者名	実行予算 a	契約合計 b	現在損益 c=a-b
小 計		264,000	0	0
1	有田商店	164,000	0	0
2	木下祭典	100,000	0	0
3		0	0	0
4		0	0	0

- ・業者と契約後、「既決定」欄にその契約金額と該当する予算No.を入力すると、現在損益(契約金額と予算との差)が自動で表示される。
- ・その工種における現在損益の合計が自動計算で表示され、「管理月報」にも表示される。

既 決 定										
No.	年 月 日	業者コード	業 者 名	注文番号	摘 要	契約金額 ②	契約書払 ③	契約外払 ⑤	既決合計	既・支払合計 ⑦
						230,000	0	50,000	280,000	50,000
1			有田商店			150,000			150,000	0
100			田中金物					50,000	50,000	50,000
2			木下祭典			80,000			80,000	0

② 「当該予算」の管理(現在損益を自動算出する)

- ・「当該予算」欄には、①で割り当てた(No.1～50)ごとに業者名と自動集計された予算が表示されている…**①A**

ただし、契約外(No.100～)は対象外として表示されない。(契約外の現在損益は管理上0とするため)

当 該 予 算				
No.	業者名	実行予算 a	契約合計 b	現在損益 c=a-b
小 計		264,000	0	0
1	有田商店	164,000	0	0
2	木下祭典	100,000	0	0
3		0	0	0
4		0	0	0

- ・業者と契約後、「既決定」欄にその契約金額と該当する予算No.を入力すると、現在損益(契約金額と予算との差)が自動で表示される。
- ・その工種における現在損益の合計が自動計算で表示され、「管理月報」にも表示される。

既 決 定										
No.	年 月 日	業者コード	業 者 名	注文番号	摘 要	契約金額 ②	契約書払 ③	契約外払 ⑤	既決合計	既・支払合計 ⑦
						230,000	0	50,000	280,000	50,000
1			有田商店			150,000			150,000	0
100			田中金物					50,000	50,000	50,000
2			木下祭典			80,000			80,000	0

② 「当該予算」の管理(現在損益を自動算出する)

- ・「当該予算」欄には、①で割り当てた(No.1～50)ごとに業者名と自動集計された予算が表示されている…**①A**

ただし、契約外(No.100～)は対象外として表示されない。(契約外の現在損益は管理上0とするため)

当 該 予 算				
No.	業者名	実行予算 a	契約合計 b	現在損益 c=a-b
小 計		264,000	0	0
1	有田商店	164,000	0	0
2	木下祭典	100,000	0	0
3		0	0	0
4		0	0	0

- ・ 業者と契約後、「既決定」欄にその契約金額と該当する予算No.を入力すると、現在損益(契約金額と予算との差)が自動で表示される。
- ・ その工種における現在損益の合計が自動計算で表示され、「管理月報」にも表示される。

既 決 定										
No.	年 月 日	業者コード	業 者 名	注文番号	摘 要	契約金額 ②	契約書払 ③	契約外払 ⑤	既決合計	既・支払合計 ⑦
						230,000	0	50,000	280,000	50,000
1			有田商店			150,000			150,000	0
100			田中金物					50,000	50,000	50,000
2			木下祭典			80,000			80,000	0

② 「当該予算」の管理(現在損益を自動算出する)

- ・「当該予算」欄には、①で割り当てた(No.1～50)ごとに業者名と自動集計された予算が表示されている…**①A**

ただし、契約外(No.100～)は対象外として表示されない。(契約外の現在損益は管理上0とするため)

当 該 予 算				
No.	業者名	実行予算 a	契約合計 b	現在損益 c=a-b
小 計		264,000	0	0
1	有田商店	164,000	0	0
2	木下祭典	100,000	0	0
3		0	0	0
4		0	0	0

- ・ 業者と契約後、「既決定」欄にその契約金額と該当する予算No.を入力すると、現在損益(契約金額と予算との差)が自動で表示される。
- ・ その工種における現在損益の合計が自動計算で表示され、「管理月報」にも表示される。

既 決 定										
No.	年 月 日	業者コード	業 者 名	注文番号	摘 要	契約金額 ②	契約書払 ③	契約外払 ⑤	既決合計	既・支払合計 ⑦
						230,000	0	50,000	280,000	50,000
1			有田商店			150,000			150,000	0
100			田中金物					50,000	50,000	50,000
2			木下祭典			80,000			80,000	0

② 「当該予算」の管理(現在損益を自動算出する)

- ・「当該予算」欄には、①で割り当てた(No.1～50)ごとに業者名と自動集計された予算が表示されている…**①A**

ただし、契約外(No.100～)は対象外とし表示されない。(契約外の現在損益は管理上0とするため)

当 該 予 算				
No.	業者名	実行予算 a	契約合計 b	現在損益 c=a-b
小 計		264,000	0	0
1	有田商店	164,000	0	0
2	木下祭典	100,000	0	0
3		0	0	0
4		0	0	0

- ・ 業者と契約後、「既決定」欄にその契約金額と該当する予算No.を入力すると、現在損益(契約金額と予算との差)が自動で表示される。
- ・ その工種における現在損益の合計が自動計算で表示され、「管理月報」にも表示される。

既 決 定										
No.	年 月 日	業者コード	業 者 名	注文番号	摘 要	契約金額 ②	契約書払 ③	契約外払 ⑤	既決合計	既・支払合計 ⑦
						230,000	0	50,000	280,000	50,000
1			有田商店			150,000			150,000	0
100			田中金物					50,000	50,000	50,000
2			木下祭典			80,000			80,000	0

② 「当該予算」の管理(現在損益を自動算出する)

- ・「当該予算」欄には、①で割り当てた(No.1～50)ごとに業者名と自動集計された予算が表示されている…**①A**

ただし、契約外(No.100～)は対象外として表示されない。(契約外の現在損益は管理上0とするため)

当 該 予 算				
No.	業者名	実行予算 a	契約合計 b	現在損益 c=a-b
小 計		264,000	0	0
1	有田商店	164,000	0	0
2	木下祭典	100,000	0	0
3		0	0	0
4		0	0	0

- ・業者と契約後、「既決定」欄にその契約金額と該当する予算No.を入力すると、現在損益(契約金額と予算との差)が自動で表示される。
- ・その工種における現在損益の合計が自動計算で表示され、「管理月報」にも表示される。

既 決 定										
No.	年 月 日	業者コード	業 者 名	注文番号	摘 要	契約金額 ②	契約書払 ③	契約外払 ⑤	既決合計	既・支払合計 ⑦
						230,000	0	50,000	280,000	50,000
1			有田商店			150,000			150,000	0
100			田中金物					50,000	50,000	50,000
2			木下祭典			80,000			80,000	0

② 「当該予算」の管理(現在損益を自動算出する)

- ・「当該予算」欄には、①で割り当てた(No.1～50)ごとに業者名と自動集計された予算が表示されている…**①A**

ただし、契約外(No.100～)は対象外として表示されない。(契約外の現在損益は管理上0とするため)

当 該 予 算				
No.	業者名	実行予算 a	契約合計 b	現在損益 c=a-b
小 計		264,000	230,000	34,000
1	有田商店	164,000	150,000	14,000
2	木下祭典	100,000	80,000	20,000
3		0	0	0
4		0	0	0

- ・業者と契約後、「既決定」欄にその契約金額と該当する予算No.を入力すると、現在損益(契約金額と予算との差)が自動で表示される。
- ・その工種における現在損益の合計が自動計算で表示され、「管理月報」にも表示される。

既 決 定										
No.	年 月 日	業者コード	業 者 名	注文番号	摘 要	契約金額 ②	契約書払 ③	契約外払 ⑤	既決合計	既・支払合計 ⑦
						230,000	0	50,000	280,000	50,000
1			有田商店			150,000			150,000	0
100			田中金物					50,000	50,000	50,000
2			木下祭典			80,000			80,000	0

② 「当該予算」の管理(現在損益を自動算出する)

- ・「当該予算」欄には、①で割り当てた(No.1～50)ごとに業者名と自動集計された予算が表示されている…**①A**

ただし、契約外(No.100～)は対象外として表示されない。(契約外の現在損益は管理上0とするため)

当 該 予 算				
No.	業者名	実行予算 a	契約合計 b	現在損益 c=a-b
小 計		264,000	230,000	34,000
1	有田商店	164,000	150,000	14,000
2	木下祭典	100,000	80,000	20,000
3		0	0	0
4		0	0	0

- ・業者と契約後、「既決定」欄にその契約金額と該当する予算No.を入力すると、現在損益(契約金額と予算との差)が自動で表示される。
- ・その工種における現在損益の合計が自動計算で表示され、「管理月報」にも表示される。

既 決 定										
No.	年 月 日	業者コード	業 者 名	注文番号	摘 要	契約金額 ②	契約書払 ③	契約外払 ⑤	既決合計	既・支払合計 ⑦
						230,000	0	50,000	280,000	50,000
1			有田商店			150,000			150,000	0
100			田中金物					50,000	50,000	50,000
2			木下祭典			80,000			80,000	0

② 「当該予算」の管理(現在損益を自動算出する)

- ・「当該予算」欄には、①で割り当てた(No.1～50)ごとに業者名と自動集計された予算が表示されている…**①A**

ただし、契約外(No.100～)は対象外として表示されない。(契約外の現在損益は管理上0とするため)

当 該 予 算				
No.	業者名	実行予算 a	契約合計 b	現在損益 c=a-b
小 計		264,000	230,000	34,000
1	有田商店	164,000	150,000	14,000
2	木下祭典	100,000	80,000	20,000
3		0	0	0
4		0	0	0

- ・業者と契約後、「既決定」欄にその契約金額と該当する予算No.を入力すると、現在損益(契約金額と予算との差)が自動で表示される。
- ・その工種における現在損益の合計が自動計算で表示され、「管理月報」にも表示される。

既 決 定										
No.	年 月 日	業者コード	業 者 名	注文番号	摘 要	契約金額 ②	契約書払 ③	契約外払 ⑤	既決合計	既・支払合計 ⑦
						230,000	0	50,000	280,000	50,000
1			有田商店			150,000			150,000	0
100			田中金物					50,000	50,000	50,000
2			木下祭典			80,000			80,000	0

③ 「今後見込」欄の管理

【契約の場合】

- ・ 前ページの②の①(当該予算)をすべてコピーして添付し、それぞれの予算No.(1～50)も入力する。
- ・ 「予算にない契約(注1)」が発生した場合も、①の処理を行ったのち、今後見込にも追記しておく。
- ・ それぞれの契約が済んだ時点で、直ちに完了ボタンを押下し、「見込金額」0とする。
(この処理をしないと既決定と今後見込に二重計上され原価実績が狂ってしまう)

今 後 見 込 額							
No.	完了	名 称	数 量	単 位	単 価	既・支払合計 ⑦	見込金額 ⑥
合 計						0	55,000
2	●	木下祭典	1	式	100,000	0	0
100		田中金物	1		100,000	50,000	50,000
1	●	有田商店	1	式	164,000	0	0
							0

③ 「今後見込」欄の管理

【契約外払の場合】

- ・ ①の予算をコピーして添付し、同時にその予算No.(100～)も記入する。
- ・ 支払いが発生した時点で、「既決定」欄に契約外払の金額とそれに該当する予算No.を入力する。
- ・ 「今後見込額」の欄に、その支払金額(累計)と、残予算が「見込金額」欄に自動算出される。
- ・ 残予算がなくなった時点で、完了ボタンを押下し、今後見込み0とする。
(終了しないとオーバー分がマイナス計上され今後見込が減るので要注意)
- ・ 予算をオーバーした場合は、「今後見込」欄に追加し、新たなNo.を割り当て次月以降、同様の管理を行う。(契約外払は、「現在損益=0」で管理するので、「予算」への追加は不要)

管理月報

工事コード	2331111	契約工期	2024年6月1日	～	2025年12月31日
工事件名	テスト建築工事				

工事価格	工事原価	粗利益	粗利益率
45,000,000	41,350,000	3,650,000	8.11%

最終予想粗利益	最終予想粗利益率
684,000	1.52%

承認	確認	受付	作業所
/	/	/	/

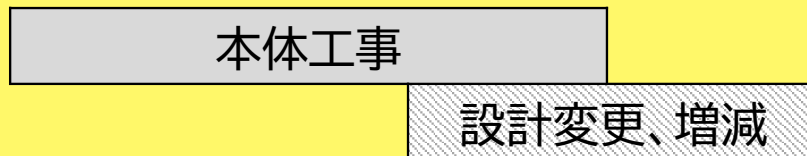
工種コード	工 種 名	実 行 予 算 ①	既 決 定				今後見込額 ⑥	既・支払合計 ⑦=③+⑤	最終予想原価 ⑧=②+⑤+⑥	予算差額 ⑨=①-⑧	現在損益
			契 約 金 額 ②	契 約 書 払 ③	残 額 ④=②-③	契 約 外 払 ⑤					
合 計		644,000	230,000	0	230,000	50,000	330,000	50,000	610,000	34,000	34,000
1010	建 準 備 費	364,000	230,000	0	230,000	50,000	50,000	50,000	330,000	34,000	34,000
1020	建 仮 設 建 物 費	280,000	0	0	0	0	280,000	0	280,000	0	0

D 未登録工事の業者契約、契約外払いの管理

① 純然たる追加工事(元契約の変更、増減ではない工事)



② 設計変更やVECD等により数量の増減、または仕様変更が発生した工事



① 純然たる追加工事(元契約の変更、増減ではない工事)

- ・ 契約、契約外ともに「追加工事」の工種で管理する。
- ・ 契約、契約外の原因が発生した場合「既決定」に入力し、同時にその同額を今後見込でマイナス計上しその原因が発生しないようにしておく。

(予算外であるため◎の当該予算、現在損益の管理はしない)

② 設計変更やVECD等により数量の増減、または仕様変更が発生した工事

【設計変更後に業者と契約する場合】

- ・ 業者との契約は、変更後の仕様、数量とするが、その当該予算はその対象となる当初の予算とし、現在損益を算出する。(追加工事となる場合は、現在損益は当然赤字となる)
- ・ その見かけ上の損益は、発注者との追加契約後、実行予算を修正することで相殺される。

② 設計変更やVECD等により数量の増減、または仕様変更が発生した工事

【設計変更後に業者と契約する場合】

- ・ 業者との契約は、変更後の仕様、数量とするが、その当該予算はその対象となる当初の予算とし、現在損益を算出する。(追加工事となる場合は、現在損益は当然赤字となる)
- ・ その見かけ上の損益は、発注者との追加契約後、実行予算を修正することで相殺される。

【業者と契約後に設計変更が発生した場合】

- ・ 工事完了後の業者との「精算契約」を「追加工事」の工種で上記の①と同じ処理を行う。

※上記①～②は業者への支払いを処理するための便宜上の処置であり、作業所は月報管理とは別に、未登録工事の予定工事価格と予定工事原価、およびその予想粗利益を常に把握し管理しておく必要がある。

《実行予算の修正》

- ・発注者と追加工事を契約した後に、実行予算を修正(「**追加工事**」の**工種のみ**予算を追記)する。「追加工事」工種において既に発生している原価実績はそのまま実行予算に反映する。(現在損益は0)今後発生する原価については通常通り予算(予想)として計上する。
- ・その後◎の手順で、工事試算台帳に反映させる。その際、「既決定」に対応する上記の「今後見込」欄のマイナス処理を消去する。(この時点で原価実績が発生する。今後見込マイナスを0にしないと現在見込利益がその分増えてしまうので注意!!)
- ・実行予算の修正は、「追加工事」の工種でのみ行い、当該工種での修正はしないこと。

E 発注者と追加工事契約後、業者と契約、契約外払いをする場合 (第二工事部に多いケース)

- ・ 実行予算を、当該する工種で修正したうえで、©の処理を行い、通常通りの原価管理を行う。「追加工事」の工種では処理しない。

E 発注者と追加工事契約後、業者と契約、契約外払いをする場合 (第二工事部に多いケース)

- ・ 実行予算を、当該する工種で修正したうえで、©の処理を行い、通常通りの原価管理を行う。「追加工事」の工種では処理しない。）

F 現況ヒアリングでの報告

- ・ 四半期ごとの現況ヒアリング(工事価格1億円以上)では、別紙の「原価管理統括表」を提出する。
※未登録工事を「追加工事」で処理したものは、この表の原価実績から外し、欄外の「未登録工事」に入力する。

原価管理統括表

工事コード	2310084			元積	受注時利益	実行予算	現在見込	最終予想	未登録工事	承認	承認
工事件名	(仮称) 東京BRT事業所		工事価格	489,000,000	489,000,000	489,000,000	489,000,000	493,000,000	4,000,000	/	/
契約工期	2023/9/1	2024/5/31	工事原価	456,355,000	441,555,000	448,796,000	439,041,528	442,041,528	3,000,000		
構造/規模	S-0/2F		粗利益	32,645,000	47,445,000	40,204,000	49,958,472	50,958,472	1,000,000		
用途	バス営業所		粗利益率	6.7%	9.7%	8.2%	10.2%	10.3%	25.0%		

[illegible]

原価管理統括表

工事コード	2310084			元積	受注時利益	実行予算	現在見込	最終予想	未登録工事	承認	承認
工事件名	(仮称) 東京BRT事業所		工事価格	489,000,000	489,000,000	489,000,000	489,000,000	493,000,000	4,000,000	/	/
契約工期	2023/9/1	2024/5/31	工事原価	456,355,000	441,555,000	448,796,000	439,041,528	442,041,528	3,000,000		
構造/規模	S-0/2F		粗利益	32,645,000	47,445,000	40,204,000	49,958,472	50,958,472	1,000,000		
用途	バス営業所		粗利益率	6.7%	9.7%	8.2%	10.2%	10.3%	25.0%		

[illegible]